

# THE ROTARY CLUB OF NAGOYA WAGO 名古屋和合 WEEKLY 2760 地区 REPORT

CREATE HOPE in the WORLD

世界に希望を生み出そう

2023-2024年度 国際ロータリー会長 ゴードン R. マッキナリー



2023-2024年度

会長/桑山卓也 幹事/内間三好 広報委員長/田尻幹夫

創立/1972年3月15日 例会日/水曜日 12:30~13:30

例会場/名古屋東急ホテル

〒460-0008 名古屋市中区栄4-6-8 TEL:052-251-2411

2023~2024年度方針

2023 November 8 親睦で育む自他共栄 奉仕の機会 今ここに 照一隅

NO. 15

## 例会報告

●第2447回例会 令和5年11月8日(水) 晴

●11月はロータリー財団月間

●ロータリーソング 我等の生業

●出席報告 会員 86 (72) 名中 出席44名  
出席率61.11%

●ゲスト紹介

(スピーカー) 東海古城研究会  
副会長 盛田 朋樹様

●ニコボックス

「盛田さん、本日は卓話よろしくお願ひします。楽しみにしています。」 桑山卓也会長

「長らく出席できずにおりましたが、無事、胆のう摘出手術が終わり元気になって帰って来れました!多くの方々にご相談にも乗って頂きありがとうございました。」 山本秀樹君

本日のニコボックス	2件	7,000円
累計	68件	545,000円

## 内間三好幹事報告

▽11月のロータリーレート 1ドル149円です。

▽地区大会のお知らせ

【大会2日目】 11月12日(日)

時間/11時~16時30分(受付10時~)

場所/名古屋国際会議場センチュリーホール

※先回の例会にて出席義務者の方には名札・プログラムをお渡しさせていただきました。(ご欠席された方には郵送済み)当日必ずお持ちください。

▽当クラブの行事予定

○11月22日(水) 休会

○11月29日(水) クラブアッセンブリー開催  
例会終了後

※理事及び役員・各委員長のご出席をお願い致します。

※クラブアッセンブリー終了後、理事会を開催致します。

※理事及び役員のご出席をお願い致します。

○12月 6日(水) 年末会員家族懇親会

時間/17時30分~20時頃(予定)

場所/名古屋東急ホテル(登録・受付/17時~)

※お昼の例会はございません。

## 桑山卓也会長挨拶

### お城とお寺とロータリーと

皆さん、こんにちは。東海古城研究会副会長 盛田朋樹さん、お越しいただきましてありがとうございます。卓話を楽しみにしております。

少し涼しくなりましたが、また今日も、夏日になるようですので、しばらくはクールビズを続けたいと思っております。

本日は、お城のお話をさせていただきます。お城のような古い建築物は何なのか?と思われる方もいらっしゃると思いますが、それぞれの地区・地域の民、民衆もあわせてお城を誇りにしてきました。

そして、もう一つ、お城と並んでありますのがお寺です。お寺は基本的には葬儀の場所ではなく、そこに住んでいらっしゃる方が是非とも法世功德をする、日々の導きを得たいという形の中でお寺を準備して、僧侶の方がここへ来て地域の人々がいろいろな形で導いてください、というのが発端で、いろいろな所にお寺を建ててきました。それを発端したのが江戸幕府です。それ以後は明治まではそこに古跡が残る形の中で、ほとんどが檀家で本来は覚王です。覚王とはお釈迦様の別名です。そういった形でお寺ができてきました。

ロータリーもいろいろな形で、奉仕をする中で地域の皆さんと関わり合い、協力し、よい方向に進み、良い場所を提供できれば、と思っております。ロータリーも頑張っていけましたら幸いです。

本日もありがとうございました。





「身近な戦国遺跡  
“城跡”」

東海古城研究会  
盛田朋樹 副会長

～ 400年前の「土の城」の楽しみ方 ～

“城”とは

寛政4年(1792)の春日井郡下市場村(春日井市)『村絵図』に、「此所梶田新助様御城跡と申伝に御座候」とある。寛永5年(1629)死去の尾張藩士・梶田新助の屋敷跡を指す。

城館とは、その土地を治める領主や武士の住む屋敷と、戦いの際に防衛するための機能をもつ城郭を兼ねた建物のこと。攻められにくい地形に屋敷を構え、その周囲に土を盛った土塁(どるい)や堀、竹垣などで囲んでいた。

- 城の分類 「城」と「砦」に明確な区別は無い(例:「陣城」は臨時的)
- しかし江戸期に「城」と「陣屋」の呼称だけは区別された

※他に「台場(幕末)」「グスク(琉球)」「チャシ(アイヌ)」など

中世城郭について

- 400年前の姿が残る
  - 発掘調査せずに観察・体感できる第一級の遺跡
- 全国に4万2千箇所あった(『愛城研報告15号(2011年発行)』)
  - 誰でも“新発見”が可能 身近で歴史を体感
- 1970年代までは市販の書籍は少数
  - 1980年代から急速に研究が進展
- 縄張り図作成成果の蓄積(表面観察)
  - 発掘調査で年代確定
  - 当時は土塁に樹木は生えていなかった

“倭城”とは

16世紀末、朝鮮半島に日本からの侵略(壬辰倭乱)軍が築いた城

- ①“オールジャパン”として最高技術を共有した
- ②当時の石垣が改修されずに残る

→ 豊臣秀吉が朝鮮出兵しなかったら?

電車で訪ねられる中世城郭

- ◆地元住人が名古屋に通勤している
- ◆市販の書籍であまり紹介されていない
- ◆比高差が80m以下 ◆石垣を使っていない
- ◆発掘調査されていない

用語解説

- 馬出し……………門など(虎口:下記参照)の外側を囲むように塁を築いて形成した小さな空間
- 切岸(きりぎし)…曲輪の斜面を削って急角度にし、敵が登れないようにしたもの
- 虎口(こぐち)…城郭の出入り口を特にこう呼ぶ
- 豎堀(たてぼり)…斜面へ等高線に対し垂直に設けた堀。敵の横移動を阻止した。
- 堀切……………主に中世期、尾根筋を絶ち切った堀
- 枡形(ますがた)…虎口で寄せ手が直進できないような導線にする工夫
- 横矢……………侵攻する敵を側面から攻撃すること

大草城

〈所在地〉愛知県知多市大草字東屋敷  
〈アクセス〉名鉄常滑線大野駅から徒歩15

〈歴史〉現在の遺構は、織田信長の弟・源吾長益(有楽齋)の手による。長益がこの地に入った時期は天正2年～10年の間のうち諸説ある。同12年(1584)小牧長久手の合戦後、長益は羽柴秀吉から摂津国味舌(現:大阪府摂津市)に領地を与えられ移り、未完成に終わった。江戸期に尾張徳川家の重臣・山澄淡路守英龍が城跡の南西に屋敷を構え、幕末まで遺構を保存した。



紹介者/桑山会長 卓話講師/盛田朋樹 東海古城研究会 副会長

例会	月日	今後の予定
	11.22	休会
第2449回	11.29	名古屋グランパスエイト アカデミースカウト 岡山哲也様 「ミスターグランパスと呼ばれ」
第2450回	12.6	年末会員家族懇親会 17時30分～ 名古屋東急ホテル (登録・受付/17時～) ※お屋の例会はございません

○このウィークリーは再生紙を使用しております。